

2018. 3. 27 (29-12)

3月号

# 水辺のふるさと かつしか

自然環境レポーター通信



題名 : モズ

撮影場所 : 水元公園

写真提供 : 加藤 秀雄さん

# 水辺のふるさとかつしか3月号

## 目次

1	区内で見られる55種の動植物	.....	P 1~3
2	自由レポート	(調査区1) 弥生さくら草さん	P 4
		(調査区3) RYUさん	P 5
		Rさん	P 6
		藤並 剛さん	P 7
		(調査区5) K. Nさん	P 8
		佐々木 定治さん	P 9~10
		鳥好き植木職人さん	P 11
3	魚からの便り—247	.....	P 12~13
4	今月の1枚	.....	P 14~15
5	資源・エネルギーチェック票の報告結果	.....	P 16
6	環境課からのお知らせ	.....	P 17

## —編集担当より—

3月3日の自然観察会に参加していただいたレポーターの皆さん、ありがとうございました。当日は16名にご参加いただき、天気も良く気温が高いこともあり絶好の観察日和でした。中島幸一講師を先頭に前半は曳舟川親水公園を散策、後半は白鳥集い交流館で生きものにまつわるお話をさせていただきました。鶯の色や春告草は何かなど普段何気なく見ている植物や動物の姿などをわかりやすく教えていただき、とても充実した観察会でした。

29年度は大変お世話になりました。30年度も引き続き自然環境係でお仕事することとなりましたので、よろしくお願いいたします。

(斉藤)



2月 生物指標・ 観察集計表		奥戸	新小岩	東新小岩	西新小岩	青戸	立石	東立石	東四つ木	四つ木	白鳥	亀有	西亀有	小菅	堀切	東堀切	お花茶屋	宝町	高砂	鎌倉	細田	柴又	新宿	金町	金町浄水	東金町	水元	水元公園	東水元	南水元	西水元	時期・特徴など	
野	1	コアジサシ									1																					上旬・中旬・下旬/	
	2	ツバメ																														上旬・中旬・下旬/	
	3	オオヨシキリ																														上旬・中旬・下旬/	
	4	コガモ					多	多	多	多																						上旬・中旬・下旬/	
	5	ツグミ							1		2	多																				上旬・中旬・下旬/	
	6	ウグイス									1																					上旬・中旬・下旬/	
	7	コサギ					2	1	1		1																2					上旬・中旬・下旬/	
	8	カワセミ																														上旬・中旬・下旬/	
	9	コゲラ																														上旬・中旬・下旬/	
	10	シジュウカラ					4	1				2	4														2					上旬・中旬・下旬/	
昆虫	11	ギンヤンマ																														上旬・中旬・下旬/	
	12	アキアカネ																														上旬・中旬・下旬/	
	13	オオカマキリ																														上旬・中旬・下旬/	
	14	エンマコオロギ																														上旬・中旬・下旬/	
	15	カンタン																														上旬・中旬・下旬/	
	16	トノサマバッタ																														上旬・中旬・下旬/	
	17	クマゼミ																														上旬・中旬・下旬/	
	18	アブラゼミ																														上旬・中旬・下旬/	
	19	ツクツクボウシ																															上旬・中旬・下旬/
	20	ミンミンゼミ																															上旬・中旬・下旬/
21	ニイニイゼミ																															上旬・中旬・下旬/	
22	ヤマトタムシ																															上旬・中旬・下旬/	
23	ナガサキアゲハ																															上旬・中旬・下旬/	
24	クロアゲハ																															上旬・中旬・下旬/	
25	ナミアゲハ																															上旬・中旬・下旬/	
26	テングチョウ																															上旬・中旬・下旬/	
27	ツマグロヒョウモン																															上旬・中旬・下旬/	
28	アカボシゴマダラ																															上旬・中旬・下旬/	

数値…レポーターが確認した個体数の合計(数えきれない場合には“多”で表示) 上旬 1日～10日 中旬 11日～20日 下旬 21日～30(31)日

2月 生物指標・ 観察集計表		奥戸	新小岩	東新小岩	西新小岩	青戸	立石	東立石	東四つ木	四つ木	白鳥	亀有	西亀有	小菅	堀切	東堀切	お花茶屋	宝町	高砂	鎌倉	細田	柴又	新宿	金町	金町浄水	東金町	水元	水元公園	東水元	南水元	西水元	時期・特徴など	
植 物	29	アカメガシワ																														上旬・中旬・下旬/ 上旬・中旬・下旬/	
	30	スギナ					多																									上旬・中旬・下旬/	
	31	ナガミヒナゲシ																														上旬・中旬・下旬/	
	32	シロツメクサ																								多						上旬・中旬・下旬/	
	33	スズメノエンドウ																														上旬・中旬・下旬/	
	34	イモカタバミ									4																					上旬・中旬・下旬/	
	35	アレチウリ																														上旬・中旬・下旬/	
	36	セリ																								多						上旬・中旬・下旬/	
	37	オオバコ																															上旬・中旬・下旬/
	38	オオキンケイギク																															上旬・中旬・下旬/
	39	カントウヨメナ																															上旬・中旬・下旬/
	40	カントウタンポポ																															上旬・中旬・下旬/
	41	ソユクサ																															上旬・中旬・下旬/
	42	ジュズダマ																															上旬・中旬・下旬/
43	ススキ																															上旬・中旬・下旬/	
ほ 乳	44	アライグマ																														上旬・中旬・下旬/	
	45	ハクビシン																															上旬・中旬・下旬/
は 虫	46	ミシシッピアカミミガメ								4																						上旬・中旬・下旬/	
	47	ニホンカナヘビ																														上旬・中旬・下旬/	
両 生 類	48	ニホンアマガエル																														上旬・中旬・下旬/	
	49	ニホンアカガエル																														上旬・中旬・下旬/	
	50	ウシガエル																														上旬・中旬・下旬/	
ク モ	51	コガネグモ																														上旬・中旬・下旬/	
	52	ジョロウグモ																														上旬・中旬・下旬/	
魚 類	53	メダカ																														上旬・中旬・下旬/	
	54	ブルーギル																														上旬・中旬・下旬/	
底 生	55	ベンケイガニ																														上旬・中旬・下旬/	

数値…レポーターが確認した個体数の合計(数えきれない場合には“多”で表示) 上旬 1日~10日 中旬 11日~20日 下旬 21日~30(31)日

集計人数 8名

※ 2月の調査では、55種のうち11種が確認されました。

その他の自然観察について(本文掲載以外・敬称略)

日付	生物名	場所	調査者	個体数	事項
2/1	キンクロハジロ	中川(青戸8)	森本 龍司	4	○
2/1	オナガ、ハウセキレイ	金町	田村 ひろ子	多、1	○
2/2	ハウセキレイ	立石7	森本 龍司	1	○
2/4	スズメ、ハウセキレイ、ヒヨドリ、ツグミ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、1、多、1	○
2/4	ユリカモメ、ホトケノザ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	2、多	○
2/4	オオイヌノフグリ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多	開花
2/4	ヒヨドリ、ハウセキレイ	青戸4	森本 龍司	多、2	○
2/4	ムクドリ、ハウセキレイ	白鳥	RYU	5、1	○
2/4	タヒバリ	荒川小菅緑地公園	石鍋 壽一	1	○
2/4	メジロ	小菅1	石鍋 壽一	2	○
2/5	カワウ、アトリ	水元公園	加藤 秀雄	1、3	○
2/7	カモメ、アオサギ	中川(立石8)	森本 龍司	多、1	○
2/8	ハウセキレイ、キンクロハジロ、カモメ	青戸2、3	森本 龍司	1、2、2	○
2/10	キジバト	砂原第三公園	荒井 敏夫	1	○
2/11	カモメ	荒川(四つ木)	森本 龍司	多	○
2/11	カワラヒワ	荒川四つ木緑地	石鍋 壽一	多	○
2/12	ムクドリ、ハウセキレイ	青戸平和公園(青戸4)	森本 龍司	多、3	○
2/13	ムクドリ	東堀切	RYU	多	○
2/13	ハウセキレイ	お花茶屋	RYU	1	○
2/14	メジロ、ハウセキレイ	青戸平和公園(青戸4)	森本 龍司	6、1	○
2/14	ハウセキレイ	亀有4	荒井 敏夫	1	○
2/15	ムクドリ、スズメ、ヒヨドリ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、多、1	○
2/15	ハウセキレイ、ノゲシ、オッタチカタバミ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	1、多、多	開花
2/17	カワラヒワ、シメ、ハジロカイツブリ	水元公園	石鍋 壽一	多、1、1	○
2/18	オナガ	奥戸8	加藤 秀雄	2	○
2/19	メジロ、ハウセキレイ	青戸平和公園(青戸4)	森本 龍司	2、1	○
2/20	ハウセキレイ	立石1	森本 龍司	1	○
2/20	モズ、ユリカモメ、オオバン、コガモ	水元公園	加藤 秀雄	1、多、3、多	○
2/20	フキノトウ、カラスノエンドウ	水元3	佐々木 定治	多、多	○
2/21	ジョウビタキ、メジロ、スズメ、ヒヨドリ	亀有4	荒井 敏夫	1、2、20、1	○
2/21	ムクドリ、ウメ、ホトケノザ	亀有4	荒井 敏夫	2、1、多	○
2/22	ハウセキレイ、ヒヨドリ	青戸3	森本 龍司	2、多	○
2/24	ヒバリ	東金町8	鍵谷 哲也	3	○
2/25	スズメ、ヒヨドリ、ムクドリ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、多、多	○
2/25	ハウセキレイ、ノゲシ、ホトケノザ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	1、多、多	○
2/25	オッタチカタバミ、タネツケバナ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、多	○
2/25	ハウセキレイ	立石1	森本 龍司	1	○
2/25	カモメ	中川(立石8)	森本 龍司	多	○
2/25	コイ、スズメ、ハト	白鳥	R	4、多、多	○
2/25	オオイヌノフグリ、オドリコソウ	水元3	佐々木 定治	多、多	○
2/25	ハウセキレイ	水元3	佐々木 定治	2	○
2/26	メジロ	青戸平和公園(青戸4)	森本 龍司	2	○
2/26	ムクドリ	東堀切	RYU	4	○
2/27	ムクドリ、メジロ、シジュウカラ	青戸平和公園(青戸4)	森本 龍司	多、4、4	○
2/28	ジンチョウゲ	道上小学校	荒井 敏夫	1	○
3/5	ミミズ	立石5	三井 誠之	1	○
2/1~28	ハウセキレイ、オナガ	金町	田村 ひろ子	1、多	○
					○
					○

如月の日々

弥生さくら草

春と名ばかりで一年で一番寒いころである。だから体中に力を込めて寒さに対抗している。予報では暫くは最低気温の真冬日が多いが、それでも立春を過ぎれば少しずつ陽射しが明るくなり朝夕の日照時間が伸びて早春を感じる。今年には四年に一度の冬季オリンピックの開催年である。日本選手団の健闘を期待してテレビ観戦に一喜一憂しながら寒さを忘れることだろうか……。

寒暖の交差する月であった。今月は雨が少なかった。鉢植えの植物はともかく地植えの木々には辛いことであったのだろう。気が付いたら大事にしていた野牡丹が枯れてしまった。先代の野牡丹は成長が早くみるみる大きくなり繁茂し過ぎて、枝は庇を越え隣接していた酔芙蓉の木と陣地を取り合った。そのため切り詰めた次第に弱って枯れた前例がある。丈夫で長生きするだろうと思い込み水遣りをしなかったのが原因だと反省する。可哀そうなことをしてしまった。三代目は労わろう。

まだ草の芽は出てこない。それももう暫くで、それぞれが春の準備をしているはずである。



氏名	RYU	調査区	3	2月
----	-----	-----	---	----

### 三寒四温



左は、河津桜です。一足早く春の気分を満喫させてくれました。  
 中央は、香りが弾ける寸前のジンチョウゲです。  
 右は、サクラソウです。下旬になってようやく春を迎える陽気になりました。



左は、雨の中電線で休憩していたハトです。近くで見ると羽の模様がオレンジ色で、意外と派手なことに気が付きました。  
 中央は、某幼稚園のサツマイモ畑（現在休耕中）です。たくさんのハト、ムクドリ、スズメが何かを夢中で食べていました。  
 右は、テントウ虫です。昆虫が出て来ると、暖かくなったことを実感しますね。

氏名	R	調査区	3	2月
----	---	-----	---	----

## 曳舟川親水公園生き物調査 29



冬の終わりが近付いてきて、公園の生き物の動きも活発になって来ました。

カメも 4 匹ほど冬眠から覚めて戻ってきました。

これから春に向けての準備をしているようです。



恒例の、勝手に観察樹第 2 弾です。左が 1 月、右が 2 月です。

先月と比較しても、今回は特に変化がありません。

※写真の向きは違いますが、ご了承ください。

氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

2月4日(日)午後2時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は10度くらい。亀有3丁目の中川橋院周辺。野鳥は、スズメ、ハクセキレイ(1)、ヒヨドリ、ツグミ(1)、ユリカモメ(2)を見つけた。植物は、ホトケノザ、オオイヌノフグリ(開花)を見つけた。立春の日だった。

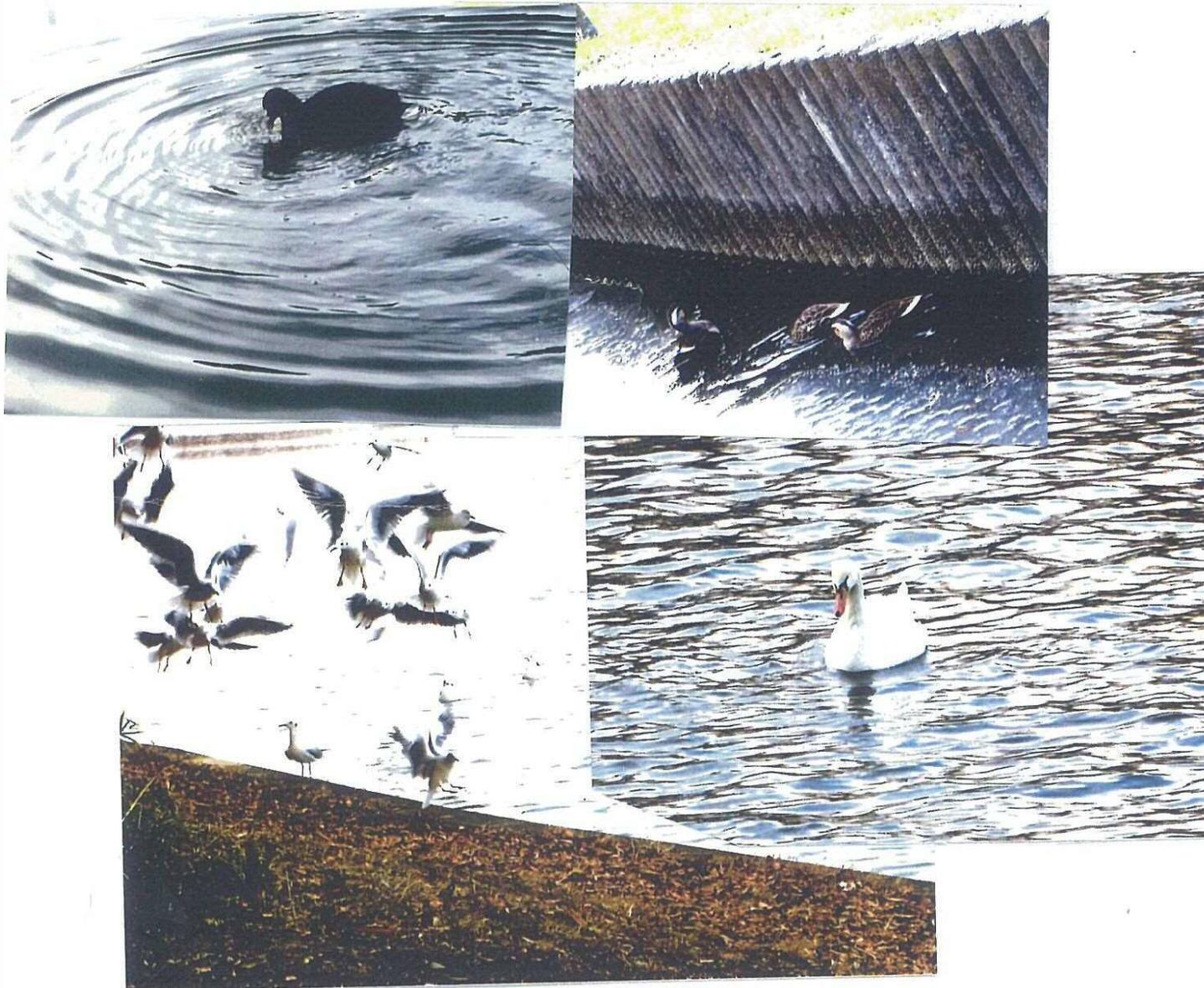
2月15日(木)午前9時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は10度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、ムクドリ、スズメ、ヒヨドリ、ハクセキレイ(1)を見つけた。植物は、ノゲシ(開花)、オッタチカタバミの花が咲いていた。サザンカが終わりに近づいていた。今日は最高気温が14度くらいとなり、3月中旬の陽気となった。

2月25日(日)午後2時頃、天気は曇り(風なし)、気温5度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリ、ムクドリ、ハクセキレイ(1)を見つけた。植物は、ノゲシ、ホトケノザ、オッタチカタバミ、タネツケバナ(開花)の花を見つけた。寒い一日となった。(明日は関東地方でも、小雪がちらつくという予報だった)

2月11日(祝、日)、東京大学(伊藤恩赦ホール)で全国学校・園庭ビオトープコンクール2017発表と交流会(公益財団法人日本生態系協会主催)が開催され、見学した。全国のビオトープ活動の参加校から選ばれた5校の子どもたちがプレゼンを行い、活動の素晴らしさを理解することが出来た。来賓は文部科学省をはじめとする3省の政務次官とドイツ大使館大使、秋篠宮殿下がお越し頂きました。秋篠宮殿下からは、「持続可能な社会の実現が何よりも大切」とのお言葉を賜ることが出来た。どんな環境になろうが、地域の自然と子どもを守るために精一杯頑張りたいと思う。(2月25日)

氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
自分で指定（観察地内の植物と昆虫・指定種中心）鳥類は大橋周囲～小合溜を観察					
30年 2/4	西洋タンポポ0・しろつめ・つゆ草など0・小合溜周囲の野鳥 コサギ0 ・アオサギ0・ユリカモメ・50以上カモ類 218以上				
2/26	西洋タンポポ1・他の花0・ふきのとう 3・小合溜周囲の野鳥・コサギ2・ アオサギ0・ユリカモメ 50以上・カモ類 水中60 陸上50以上				

1. 2月4日の日曜日、小合溜周囲は人手が多い。観察地の池には水中ダイビングのあと、水草を口にくわえて食べている鳥が数羽いた。売店の裏側でカモメが多数、鳴きながら空中を舞っている。何かと行ってみると餌上げの人がいた。「あら、カモがやられている」という。私の前では小さなつぐみがポップコーンを口にくわえているが、それを数羽のカモメが襲ってきた。さらに第二駐車場に向かった池の端では、やはりカモメの乱舞あり、急いで行くと餌上げの人がいた。彼は白鳥にあげていたという。「コブ白鳥」が一羽住み着いているという。2月下旬にも同じ餌上げの人がいた。



# 自然観察レポート30年2月の巻 佐々木定治 調査区5

## 春の躍動さまざま



2月23日水元3丁目



ビワ

ヘビイチゴ



フキノトウ



スノードロップ

セリ



白梅↑

↓オオイヌノフグリ



紅梅



タンポポ

※ありません。そんなことはよそに、2月の下旬になると、春は少しずつ足音を忍ばせてやってきています。梅・フキノトウ・タンポポ・オオイヌノフグリの春の色香が確実に漂わせているのです。待ち遠しい本物の春も近しです。

今年の2月は、その寒さも格別なものがありました。それでも雪国育ちの私にとっては、寒さ体験は浸みこんで体でしっかり覚えてらしく、雪が降ろうと寒波になろうとそんなに驚くことではないような気がします。

ただそのことが地球の異変で起きているのならば、気にならないということでは※

# 春よ来い！早くこい！



2月24日 水元3丁目 ハルジオン



クローバー



ノビル



クロッカス



カマキリの巣



クモ

春は、寒さの冬があるからこそ待ち焦がれる季節です。寒さに耐え忍びそこでより強く逞しく、生きる力を蓄えるのだと、植物や昆虫をはじめとして自然界の生きものに学びます。雨しずくの少し付着した24日の観察をしながら、何だか人生をも学んでしまいました。季節の移ろいの速さの例えに、「1月は行き2月は逃げて3月は去る。」等と昔の人はよく言ったものです。このレポートのまとめをした3月の初めにそんなことにも心奪われています。

氏名	鳥好き植木職人	町名	西水元	調査区	5
主な観察場所	中川左岸西水元水辺の公園～常磐線陸橋。区内の庭				
得意分野	野鳥及び植物	レポート no41			

## カモが飛ぶ!中川の土手で

2月下旬、西水元水辺の公園の南側の土手、約80羽のカモ達が目の前で飛び立った。嬉しい気持ちにさせてくれた。あと、1~2か月間が渡り鳥の最盛期。カモ、カイツブリ、ユリカモメ、コアジサシ等が姿を見せてくれる。水元公園の規模とは違うが、私たちの身近な所で一生懸命に生きている姿を見せてくれる。「これが地元水元の自然だ」と、今日も中川の土手を歩く。



## カモたちは食事中?

土手の草の根元に嘴を入れ、種か小動物を採っているのかな?。冬の日差しの中で気持ち良さそう。中川の真ん中ではコアジサシ三羽が浮かんでいる。その一羽が潜った。約20秒の潜水後顔を出す。獲物は空振りだったようだ。



葛飾柴又新八水路 魚からの便り-247

調査回数 調査日 地点		249			備 考
		2018/2/24			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	2 32-38			
2	カ ダ ヤ シ		5 18-27		
3	ギ ン ブ ナ		1 38		
4	タイリクバラタナゴ		3 17-22		
5	ヌ マ チ チ ブ	2 25-31			
6	ボ ラ	1 34			
7	メ ダ カ		27 17-32		
8	モ ツ ゴ		2 33-39		
計		3種類5個体	5種類38個体	0種類0個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて8種類43個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ 気温13.8℃、水温 本流8.4℃、新八水路14.5℃、新八ワンド12.8℃（15時頃測定）

【参加者コメント】

- ・ 12月以来久し振りに、本流で（投網で）頑張った大学3年の女子が魚（ボラの未成魚1個体）を採った。さぞかし夜の麦酒が旨かったことだろう。我々には苦かったが、本流漁獲なしを脱出できて良かった！ また乾杯しよう。  
テレビでは小さい魚をよく稚魚と呼ぶが、魚の成長段階、卵→仔魚（しぎよ）→稚魚（ちぎよ）→未成魚→成魚、には明確な定義があり、多くの事例で未成魚を稚魚と誤って呼んでいる。今回のボラも、体色は銀色に輝き、吻端（ふんたん）が丸みを帯びている点が成魚とは異なる『未成魚』のステージだった。（YK）
- ・ 朝、ヒバリが鳴きながら飛び上がって行くのを見ました。  
調査日の前の週に、調布市の深大寺で門前の池の「かいぼり」があり、一部有志が出張してきました。（KI）
- ・ なんとか小さなボラ1匹でも採ることができて良かった。  
陽射しは暖かかったものの、水はまだ冷たく、春と魚が待ち遠しいです。（MO）
- ・ 本流で3カ月振りにヌマチチブを採ることができた。でも、小さいのが2匹だけ。例年と違う、なぜだろう。  
新八ワンドは、水がほとんどなく、採集できず残念。（SI）

【今後の調査日】 3月24日（土） 4月28日（土） 5月12日（土） 6月9日（土）  
7月14日（土） 8月11日（土：祝）

HP（ <http://shigenori1.jimdo.com/> ）

【編集：一澤成典】



# 今月の1枚



「ある日の空」

30/2/15 清和小学校

撮影 RYUさん



「流れ」

30/2/25 曳舟川親水公園

撮影 Rさん



「カマキリの巣」

30/2/24 水元3

撮影 佐々木 定治さん



「モズ」

30/2/20 水元公園

撮影 加藤 秀雄さん

## 2月 資源・エネルギーチェック票の報告結果

家族構成		電気	ガス(都市ガス)	水道	二酸化炭素
大人	子供	Kwh×0.42	m <sup>3</sup> ×2.21	m <sup>3</sup> ×0.2	排出量
2	0	81.90	81.77		163.67
2	0	34.02	13.26		47.28
3	0	19.32	0.00		19.32
3	0	435.12	79.56		514.68
2	0	77.70	17.68		95.38
2	0	97.02	24.31	2.60	123.93
2	0	240.24	203.32		443.56
2	0	137.76	196.69	8.40	342.85
4	1	363.72	167.96		531.68
1	0	100.38	72.93	5.20	178.51
4	0	317.94	163.54	11.80	493.28
4	1	288.12	269.62		557.74
1	0	63.84	68.51		132.35
					0.00
					0.00
					0.00
					0.00
					0.00
32	2	2257.08	1359.15	28.00	3644.23
平均(1家族)		250.79	151.02	3.11	404.91
一人あたりの平均		102.59	61.78	1.27	165.65

< 2月の二酸化炭素の排出量 >

\* 一人あたりの平均は『165.65kg』です。

お出かけは、できるだけ公共の交通機関を利用しましょう。

## 環境課からのお知らせ

自然環境係 電話5654-8237(直通)



### ☆新八水路で魚類調査を行います

日時 4月28日(土)、5月12日(土) 10:00~15:00  
場所 江戸川河川敷 寅さん記念館下まで直接お越しください。  
持ち物 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス  
詳しくは、HP (<http://shigenori1.jimdo.com/>) 【 新八水路 】で検索!

### ☆カラスの巣落としを行います!

毎年、3月から7月頃にかけての繁殖期は、カラスが人を襲う被害が発生します。

これは、人が巣に近づいた時に、ヒナを守ろうとする親鳥が威嚇や攻撃をするために起きる被害です。このような被害を少なくするために、「巣や、巣から落ちたヒナにできるだけ近づかない」、「帽子をかぶる」、「傘・ステッキなどの棒状の物を頭の上にかざす」などの方法で、頭(後頭部)を守り、落ち着いて行動してください。

環境課では、カラス対策の一環として巣の撤去を行います。

#### 【撤去の条件】

◎ 次の①~③の全ての条件に当てはまる場合となります。

① 一般家庭の樹木などに作られた巣

・ただし、公園、街路樹、事業所、団地などの敷地内の樹木や電柱などにある巣は対象外です。(該当する施設の管理者の対応となります)

② 相談者(被害者)が親鳥から威嚇や攻撃を受けていること。

③ 樹木などのある土地の所有者から撤去について同意が得られていること。

◎ 職員が苦情・相談の内容や巣の状況などをお聞きして、撤去の条件に該当するかを判断したうえで、必要に応じて専門業者を派遣します。



「水辺のふるさと・かつしか」第 300号  
(葛飾区 自然環境レポーター通信第252号)

平成30年3月27日 発行

葛飾区環境部環境課

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

TEL(3695)1111 内線3522~3

直通電話 (5654)8237

fax (5698)1538

「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。次号にて訂正いたします。